

新たな「徳島市まちづくり総合ビジョン」の策定

1 策定の趣旨

本市では、平成29年度から10年間のまちづくりの指針となる「徳島市まちづくり総合ビジョン」を平成28年度に策定し、市政運営を総合的かつ計画的に推進してきたところであるが、近年、人口減少問題の深刻化など、本市を取り巻く環境は厳しさを増している。

このような社会情勢の変化に、スピード感を持って、柔軟かつ的確に対応できる市政運営が必要であることから、市長政策を踏まえつつ、新たな「徳島市まちづくり総合ビジョン」を策定するものである。

2 社会情勢の変化等

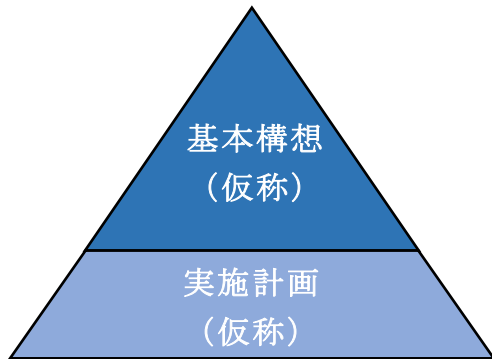
- (1) 人口減少・少子高齢化の進行（地方創生）
- (2) 激甚化する自然災害や感染症等のリスクへの対応（国土強靱化）
- (3) 技術革新の急速な進展（Society5.0）
- (4) 経済環境・労働形態等の変化（働き方改革）
- (5) 持続可能な開発目標（SDGs）の推進
- (6) 厳しさが増す財政状況

3 新たな総合ビジョン策定の基本的な考え方

- (1) 総合ビジョンの位置付け（市の最上位計画）
- (2) 新たな時代を見据えた計画
- (3) 分かりやすく実効性の高い計画
- (4) 市長政策の反映
- (5) 財政状況に即した計画

4 計画の構成

新たな総合ビジョンの構成は、基本構想（仮称）と実施計画（仮称）のシンプルな2層構造とする。



【基本構想（仮称）】

本市の将来像とその実現に向けた基本的な方向性などを示したもの

【実施計画（仮称）】

基本構想の実現に向けた具体的な施策や事業などを示したもの

5 計画期間

新たな総合ビジョンについて、基本構想（仮称）は概ね10年後を展望したものとする。実施計画（仮称）の期間は3年間とし、市長任期との整合を図りながら定期的な見直しを行い、効果的に推進していく。

6 策定体制

市長・副市長及び全部局長で構成する策定本部を設置し、さらに、策定本部内に幹事会・ワーキンググループを置き、全庁を挙げて集中的に検討を進め、今年度中に新たな総合ビジョンを策定する。

策定過程においては、市民会議の開催やパブリックコメントの実施に加え、インターネットアンケートや団体アンケートなどを実施し、幅広い市民の意見を計画案の作成に生かすとともに、議会に適宜、計画案を報告する。

7 策定スケジュール（予定）

令和2年	6月	新総合ビジョンの策定を議会報告
	7月～8月	アンケート（インターネット、団体など）を実施
	9月	新総合ビジョン骨子(案)を議会報告
	10月～11月	市民会議の開催
	12月	新総合ビジョン(素案)を議会報告
令和3年	1月	パブリックコメントの実施
	1月～2月	市民会議の開催
	3月	新総合ビジョン(最終案)を議会報告
	〃	新総合ビジョンの策定

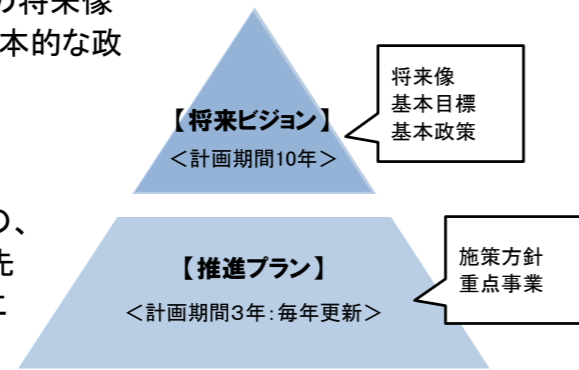
徳島市まちづくり総合ビジョンの構成

■ 将来ビジョン

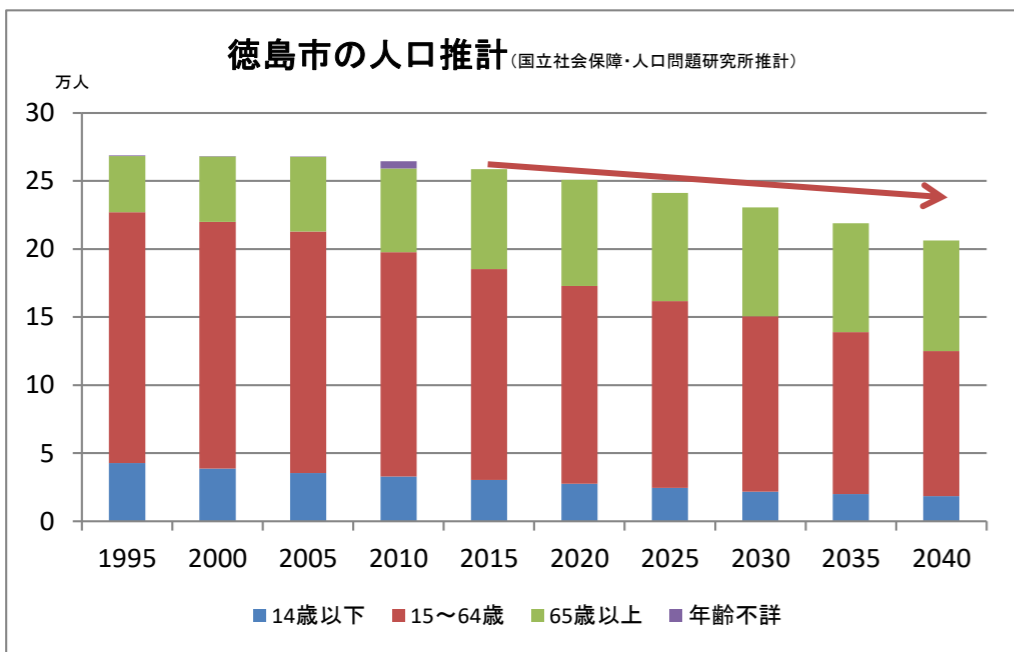
中長期的な観点から、まちの将来像や、それを実現するための基本的な政策等を明らかにする計画

■ 推進プラン

将来ビジョンに基づく取組の、より具体的な施策方針や優先的に取り組む事業を明らかにする計画



少子高齢化・人口減少の進行を克服



＜政策横断型プロジェクト＞
第2期徳島市まち・ひと・しごと創生総合戦略

2060年に24万人超の人口を維持

＜徳島市まちづくり総合ビジョンの施策体系＞

